

春日池公園

FUKUYAMA  
Park IN LAB

LifeLAB

第3回 12月3日(日)

屋内編

時間	項目	スピーカー
14:00~14:10 (10分)	オープニング&ビジョンづくりの考え方	事務局(CEC)
14:10~14:30 (20分)	官民連携の事例紹介(住民主体のクラブ活動編) やまわり公園草刈クラブ「みんなでつくる、みんなの庭」	やまわり公園草刈クラブ 中尾氏
14:30~14:40 (10分)	春日池公園と周辺エリアの現状と課題	事務局(CEC)
14:40~15:30 (50分)	ワークショップ ・説明(5分) ・ディスカッション(前半)(20分) ・引継ぎ(5分) ・ディスカッション(後半)(20分)	事務局(CEC)
15:30~15:50 (20分)	グループ発表&コメント (各グループ/2分)	NPO birth 佐藤氏& 福山市立大学 根本氏 (進行:事務局)
15:50~16:00 (10分)	クロージング	事務局(CEC)



気持ちのいいワクワクする公園のある暮らしは、人生を豊かにしてくれるはず。福山市の公園を、行政や地域が連携し、みんなのアイデアとアクションで、今までにない新しい公園をつくり上げていくプロジェクトです。

## IN 春日池公園 (今年度のプログラム)

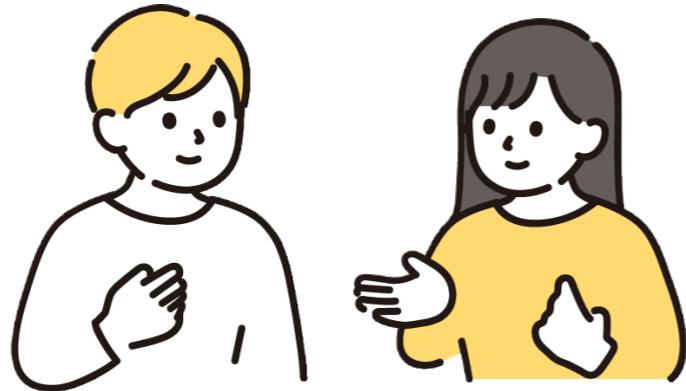
野外編 現地だからこそ発見できる魅力を見つけ、アイデアを考える



屋内編 想いやアイデアを取りまとめ、みんなでカタチ(ビジョン)にする

FUKUYAMA ParkLife LABは、  
「新しい公園のあり方」を  
**みんなで一緒に考える場**です。

→個人的な苦情・要望は控えましょう



ディスカッションの場では、  
**テーマに沿った** 発言をしましょう。

→本日のテーマは「現状・課題やポテンシャルを整理する！」です

他の方の意見には  
**「いいね！」**と肯定してあげましょう。

→理解を深めるために、もっとお話を聞いてみましょう





## 佐藤 留美 氏

**NPO法人 NPO birth 事務局長**

東京農工大学農学部森林利用システム学科卒業。

都市の“みどり”(グリーンインフラ)の力を引き出し、まちづくりに生かす様々なプロジェクトを生み出している。著書に「パークマネジメントがひらくまちづくりの未来」(共著、マルモ出版、2020)ほか。



## 根本 修平 氏

**福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科 准教授**

九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科生活環境専攻博士課程単位取得満期退学。

OPEN STREET FUKUYAMA(福山駅前等歩道空間活用社会実験)をはじめとして、まちの活性化プロジェクトに多数参画。家廻公園では、ベンチ制作やトイレ装飾の設計と制作ワークショップを大学の研究室で運営する。

- 福山市では公園の管理運営に民間活力を導入し、管理費の抑制を図りつつ、より質の高いサービスを提供する取り組みを推進しています。
- 中央公園におけるPark-PFI導入や家廻公園の市民の手による公園整備など、公民が連携して公園管理を行っています。

## ▼ 福山市の公園管理費推移



公民連携の取り組みを推進

### 事例① 中央公園(霞町)

福山駅周辺のにぎわい創出や回遊性向上の手段として、Park-PFIを中四国エリアで初導入。民間事業者によって、公園内にガーデンレストランや休憩スペースとなるあずまやなどを新設しました。また、定例イベントを開催し、市民が集う憩いの場となっており、イベント等での公園使用料を維持管理費に充てています。



### 事例② 家廻公園(内海町)

内海町の地域住民(やまわり公園草刈クラブ)が主体となって、福山市立大学根本研究室と連携し、花壇の整備やトイレの改修、ベンチの設置などを進めて地域に長く愛される新たな公園へと生まれ変わらせています。



- 公園には社会課題や地域課題を解決する力があります。
- 例えば、気候変動に伴う都市災害からまちを守る力、生態系を保全する力、地域のコミュニティを醸成する力など様々です。

## Power of Park



気候変動や  
都市災害を防ぐ



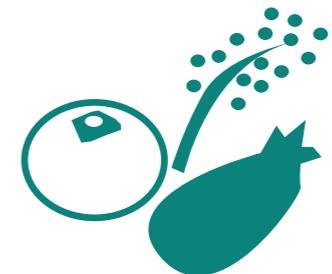
美しい景観を  
形成する



生きものの  
多様性を育む



コミュニティを  
活性化する



食育の場・新鮮な食  
べ物を供給する



健康な心身を  
育てる



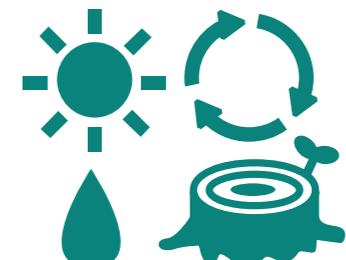
教育・福祉の場  
として活用される



経済的価値を  
生み出す



地域の文化・観光  
の拠点となる



資源循環・クリーン  
エネルギーを創出する

- 第2回ワークショップでは、春日池公園を「こういう公園にしたい」「こんな使い方ができたらいい」といった公園活用のアイデアを考えました。



みなさんから頂いたアイデアは別紙資料(A3)にまとめています。

## ビジョンづくりの考え方



# 公園が良くなれば、まちも良くなる

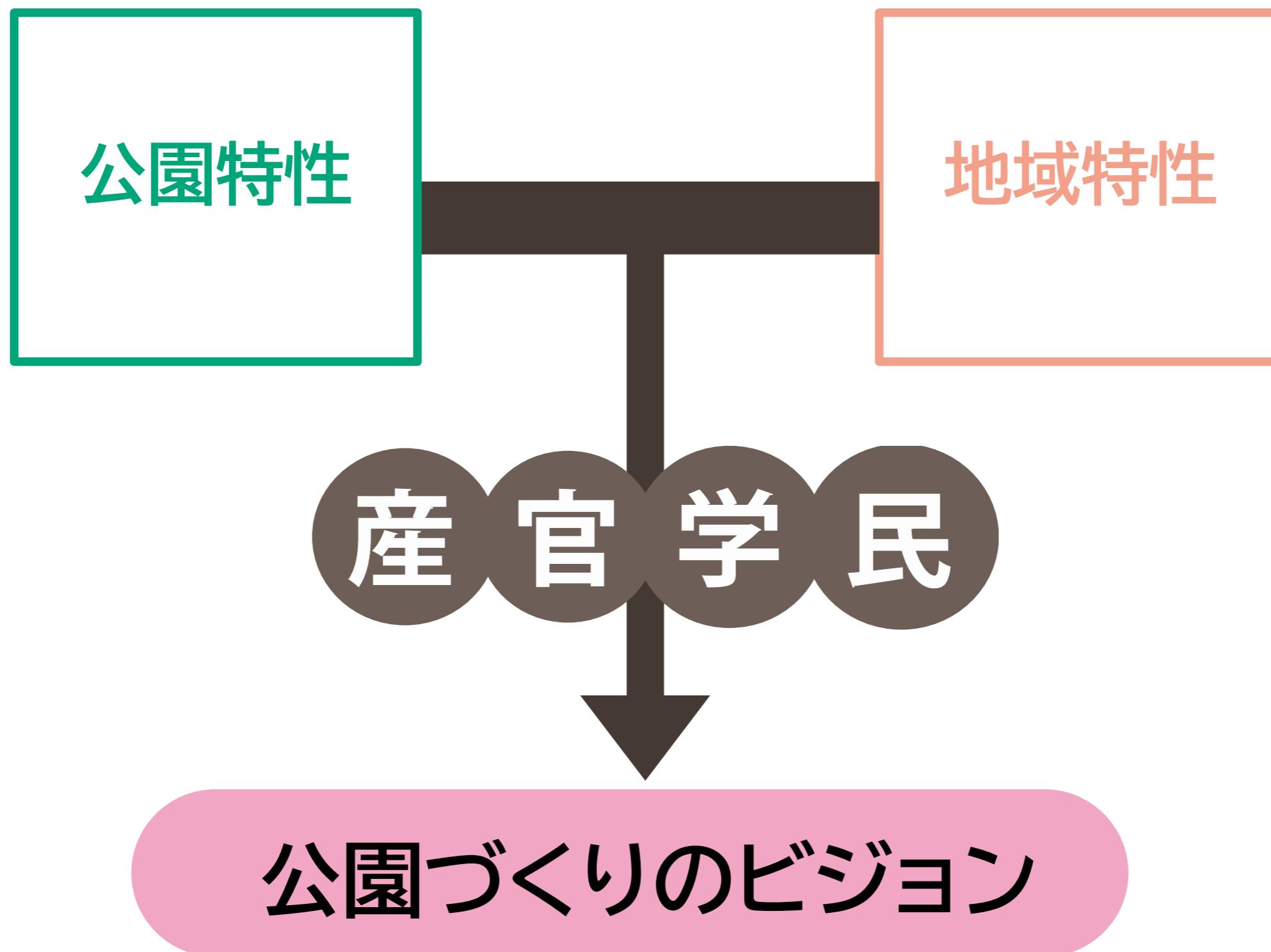
第1回ワークショップ 佐藤さんのお話より



# 身近に“良い公園”がある、豊かな暮らし



# 公園と地域の特性を活かしたパークマネジメント



ビジョンの位置づけ

# 1人1人の想いを詰め込んだ 公園づくりの道しるべ

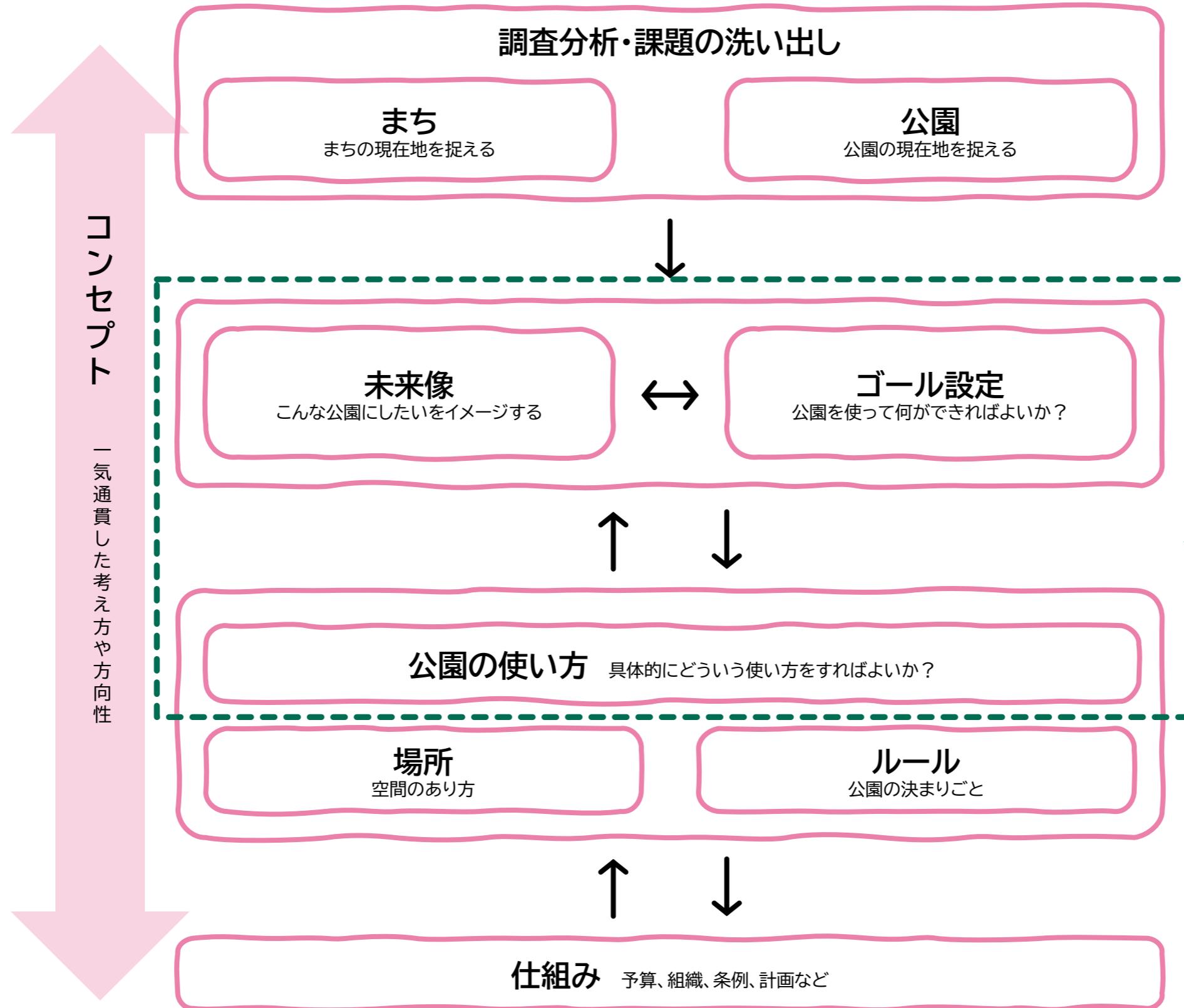
このビジョンはプロジェクトに関わるみんなで、豊かな暮らしを一緒に考え、1つずつ実現していくための公園づくりのガイドブックです。

ここに描かれた豊かな暮らしのシーンを実現していくのは、プロジェクトに関わる私たち自身です。公園を利用する人、地域に暮らす人、樹木や草花を管理する人など、様々な方が一体となり、それぞれの得意分野を活かしながら実現に向けて力を合わせて取り組んでいきましょう。

また、公園を取り巻く地域や社会の状況やどんどん変わっています。一度つくって終わりではなく、1人1人の想いを反映しながら、みんなの手で育てていくビジョンにしていきます。



### ビジョンの構成





第1回・第2回ワークショップ(野外編)にて

# 春日池公園の可能性を発見しました！

本日のワークショップでは、

## 公園の周辺エリアにも目を向けてみましょう。

官民連携の事例紹介（住民主体のクラブ活動編）  
やまわり公園草刈クラブ「みんなでつくる、みんなの庭」

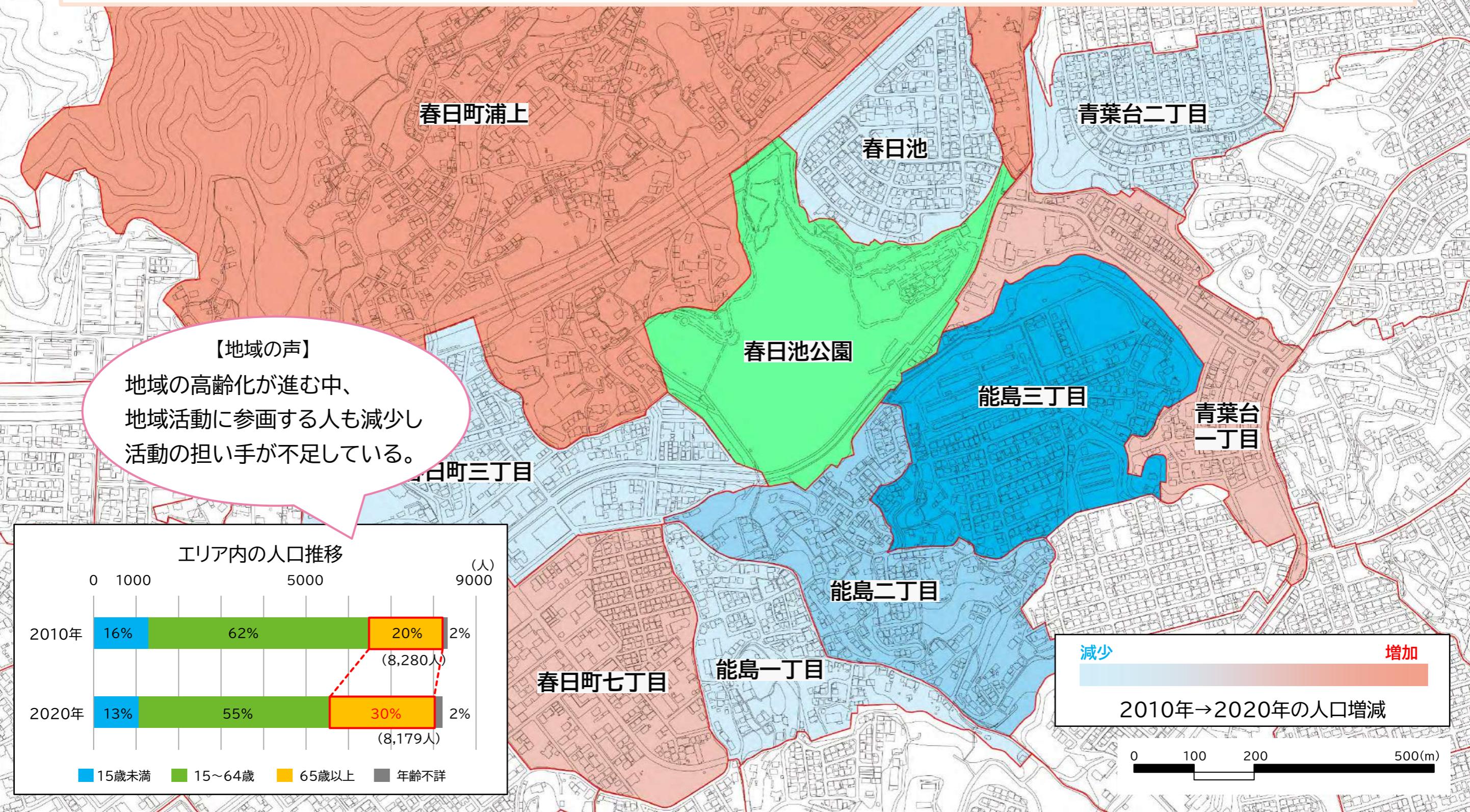
別紙資料をご覧ください。

活動の様子は、SNSでご覧ください

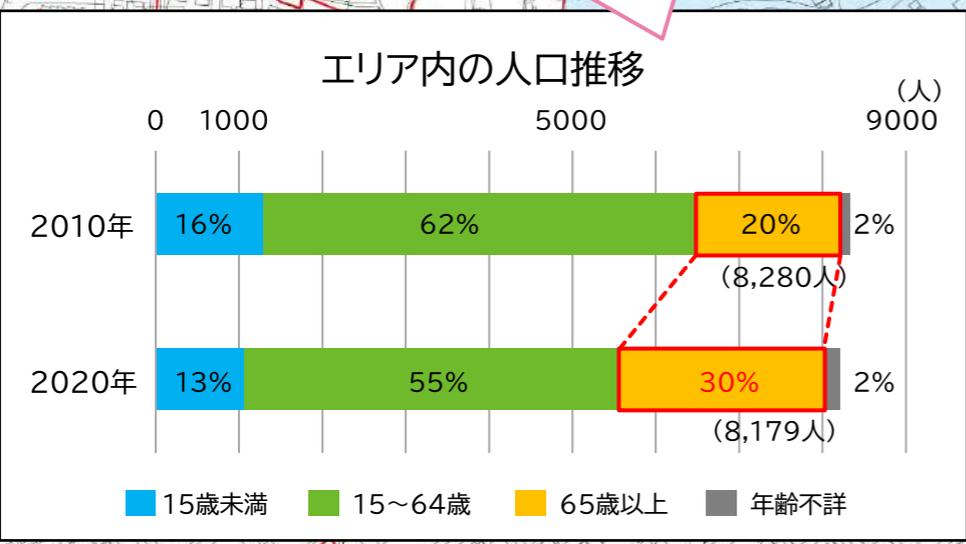


## 春日池公園と周辺エリアの現状と課題

- 春日池公園周辺2010年から2020年の人口動態をみると、春日池公園北側の春日町浦上では300人程度増加した一方、能島三丁目では300人程度減少しています。
- また、当エリア内全体の総人口の増減はほぼありませんが、65歳以上がの割合が増加し、15～64歳が減少しています。



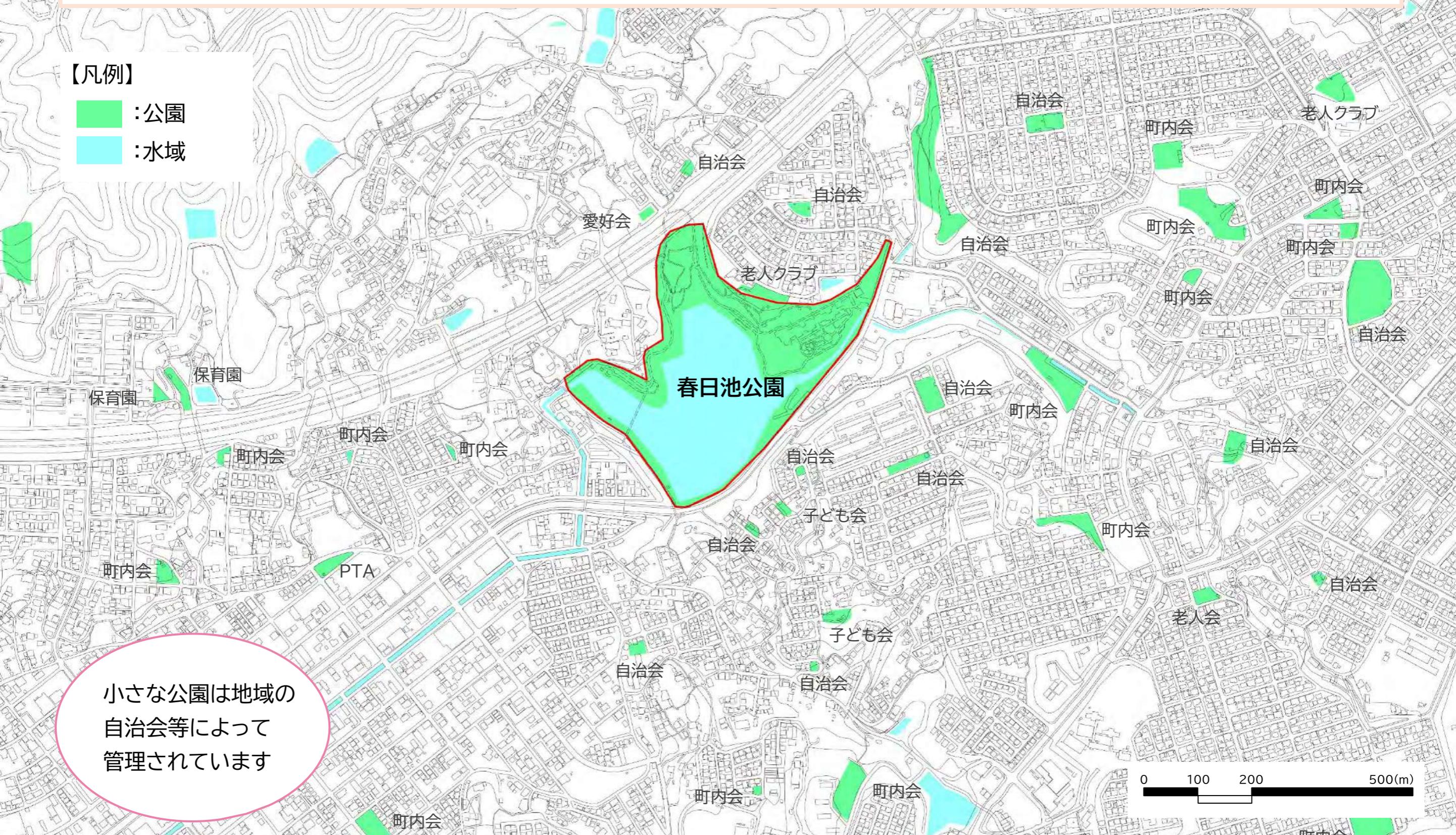
【地域の声】  
 地域の高齢化が進む中、  
 地域活動に参画する人も減少し  
 活動の担い手が不足している。



- 春日池公園を中心に、公園や水域といった自然環境が点在しています。
- 西側エリアに比べ、東側エリアには多くの公園が設置されています。

## 【凡例】

- :公園
- :水域



春日池公園

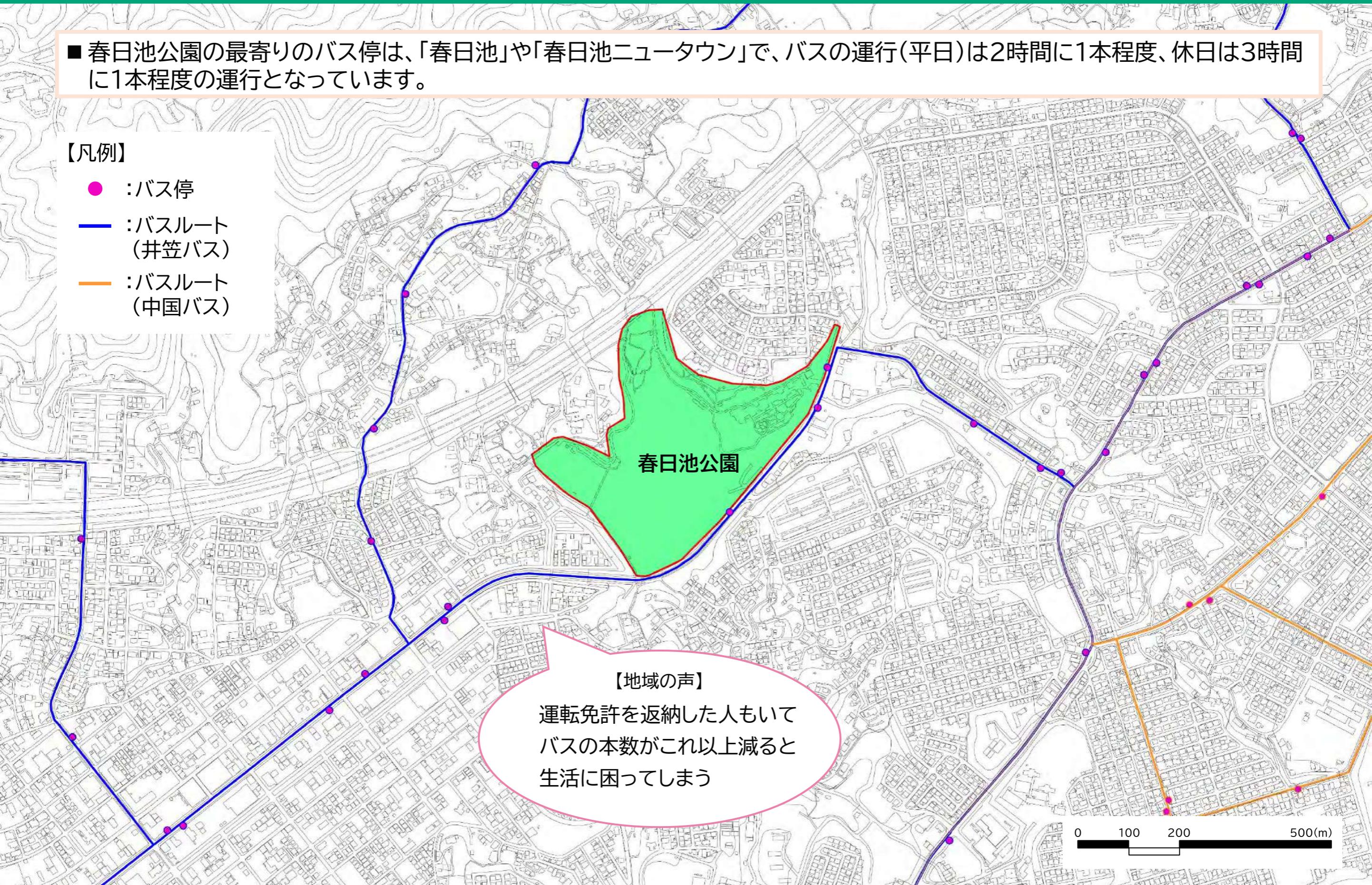
小さな公園は地域の自治会等によって管理されています



■ 春日池公園の最寄りのバス停は、「春日池」や「春日池ニュータウン」で、バスの運行(平日)は2時間に1本程度、休日は3時間に1本程度の運行となっています。

## 【凡例】

- :バス停
- :バスルート  
(井笠バス)
- :バスルート  
(中国バス)



## 【地域の声】

運転免許を返納した人もいて  
バスの本数がこれ以上減ると  
生活に困ってしまう

0 100 200 500(m)

■ 春日池公園と周辺エリアのいま(現状)を踏まえて、それぞれの抱える問題点を整理しました。

# 地域活動参加者が高齢化し、継承できていない

# 地域活動の財源が不足している

# 空き家が発生している

## 春日池公園

# 利用者の年齢層が限定的

# 利用しにくい

# 認知度が低い

# 維持管理が  
行き届いていない

# 地域の情報がきちんと届いていない

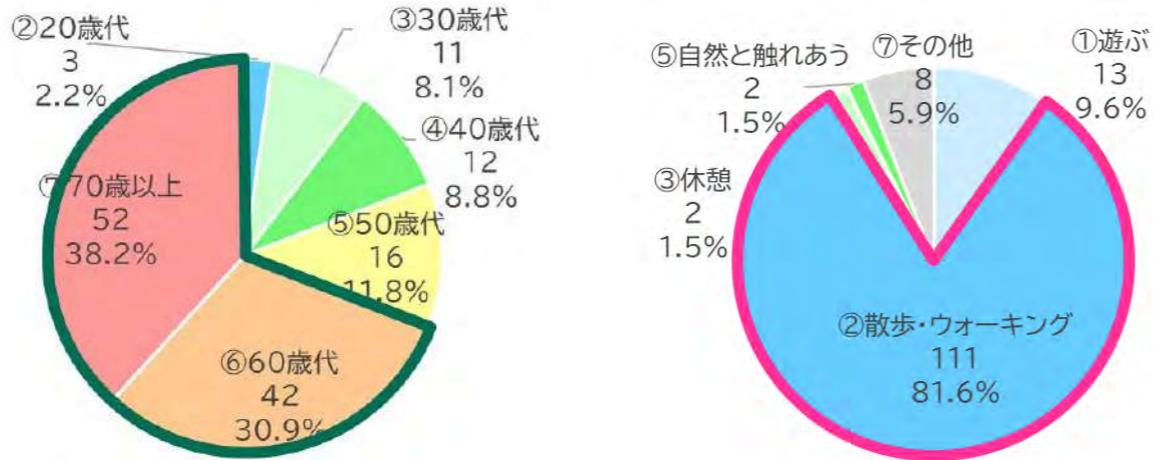
# 魅力的な施設・場所が少ない

# 小さな公園は地域の組織が担っている

# 公共交通の利便性が低い

# 公園周辺エリア内のみどりが不足している

## 課題① 多世代の利用を促進する



春日池公園は散歩・ウォーキングするのに最適で、リピーターがたくさんいる公園。

だけど、もっと色々な使い方を考えることができそう。多様な世代が集まり、色々な使い方がされる公園になれば、利用者同士の交流の機会にもつながるかもしれない。

世代関係なく、みんなが楽しむことのできる公園がある暮らしをつくろう！

高齢層の「散歩・ウォーキング」利用が大半を占めています。

色々な使い方ができそうだけど...



多世代が魅力を感じる公園にしよう！



コミュニティを活性化する



健康な心身を育てる



教育・福祉の場として活用される



地域の文化・観光の拠点となる

ポテンシャルを持つスペースはありますが、十分に活かせていません。

地域に期待される効果(例)

## 課題② 公園の使い勝手を高める

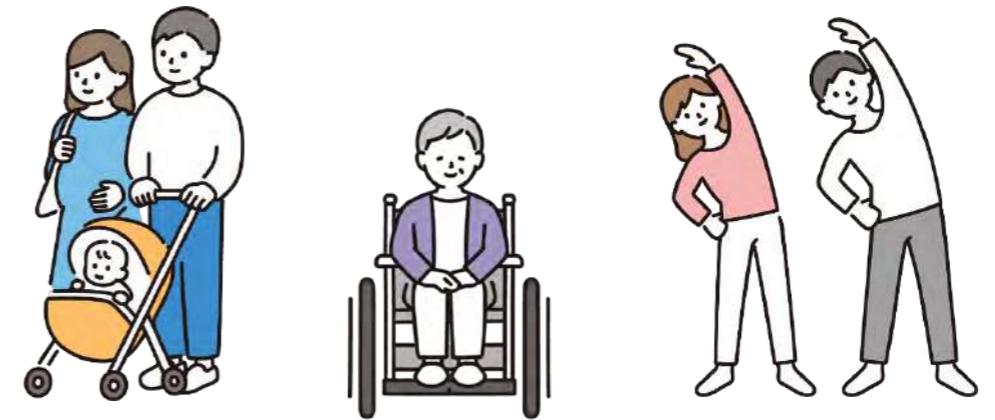
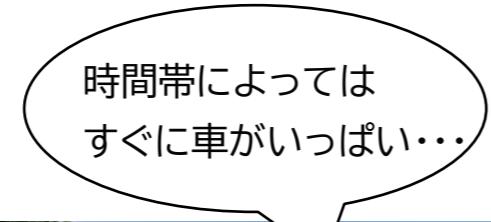
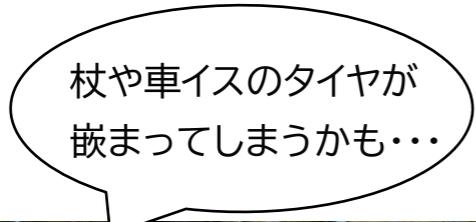


公園はみんなが使う場所だから、ルールを守って利用することはとても大切。また、使いにくいところもある。

だけど、なぜ禁止されているのかを学んで使い方を考えたり、自分では気づかない不便を教えてもらって助け合ったりできれば、もっとみんなが使いやすい公園になるはず。

お互いのことを理解しながら、自由な発想で気軽に利用できる身近な場所をつくろう！

公園の利用ルールは禁止事項が多い印象を受けます。



みんなが使いやすい公園にしよう！



コミュニティを活性化する



教育・福祉の場として活用される



経済的価値を生み出す



地域の文化・観光の拠点となる



食育の場・新鮮な食べ物を供給する

車イスで通行が難しい場所や、駐車場が少し遠いなどの不便があります。

地域に期待される効果(例)

## 課題③ 公園の認知度を高める



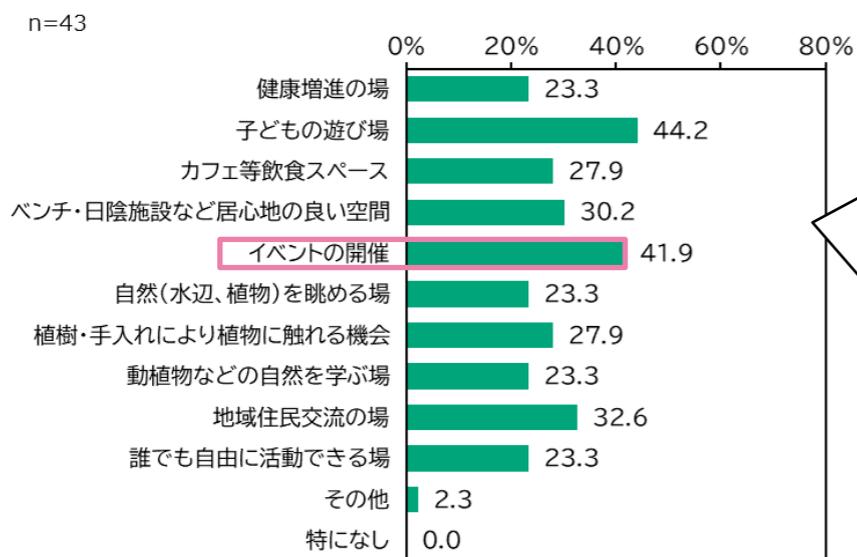
公園があることは知っていたけど、こんなに素敵な場所とは知らなかった。そんな声も聞かれます。

地域内外問わず、色々な方に春日池公園の魅力がしっかり伝われば、より多くの方に利用され、公園の新しい使い方が生まれるなど、可能性が広がり、さらに魅力的な公園がある地域に暮らしたいと思う人がたくさん現れるかも。

魅力的な春日池公園が、身近にある暮らしを多くの方に知ってもらおう！

春日池公園の魅力があまり知られておらず、伝わっていません。

### ◆ 公園がもっと利用されるために重要なコト (第1回WSでのアンケート結果)



現在のイベント開催は年1~2回程度

- ウォークラリー
- 謎解きウォーキング
- マラソン大会(小学校)など



公園の魅力を知ってもらおう！

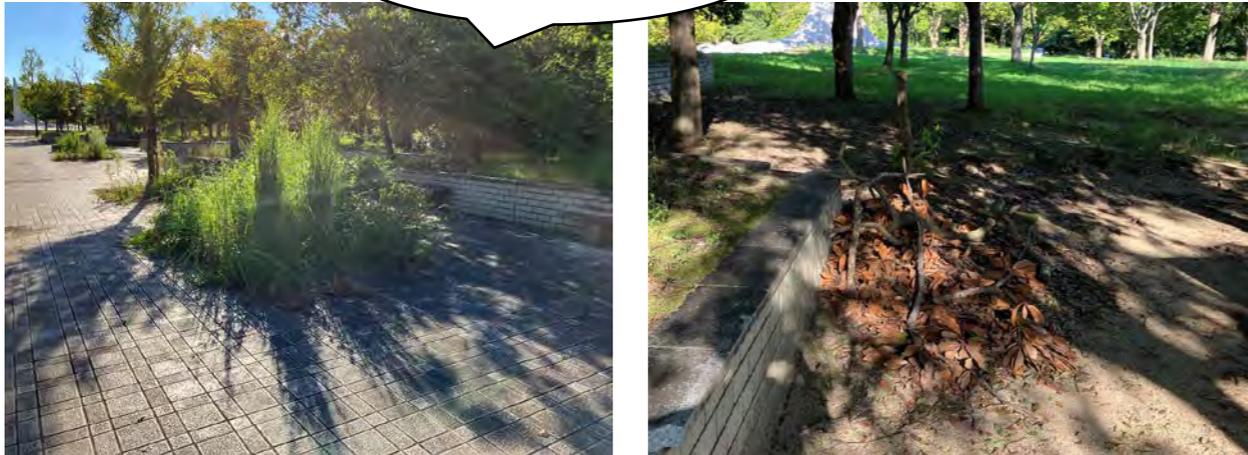


公園を知る良い機会となるイベント等もあまり行われていません。

地域に期待される効果(例)

## 課題④ 公園の手入れの方法を見直す

見た目がよくない・・・



草が伸び、枯枝も落ちたままの状態となっています。

看板が古くなって  
読みにくい・・・



痛んでいて  
座れないベンチも・・・

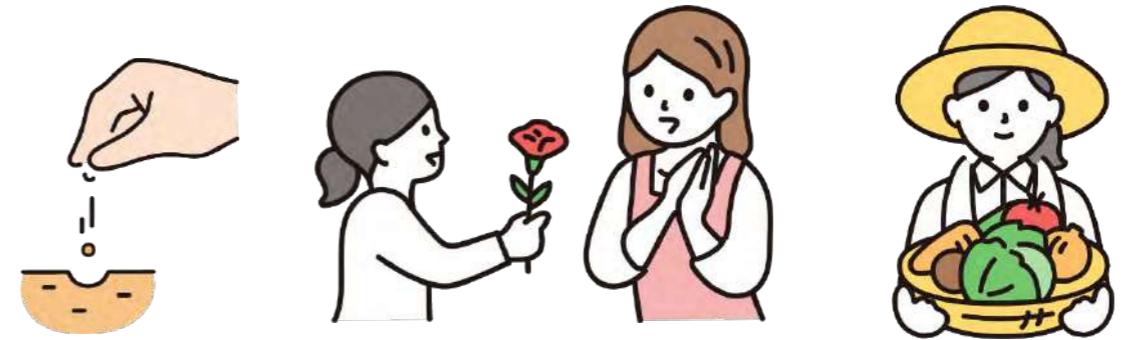


施設や看板も老朽化し、見た目も統一されていません。

豊かな自然環境が魅力の春日池公園。様々な植物や生き物が生息しています。一方で、草がぼうぼうになっている等、少し見た目がよくないところも。

自然のことを学びながら、みんなの手で公園を良い状態に保ってみよう。実体験を通じて自然に触れることで、距離が縮まり自分の身の回りにも緑を増やしたくなるかも。

自然豊かで、美しい景色が身近にある暮らしをつくろう！



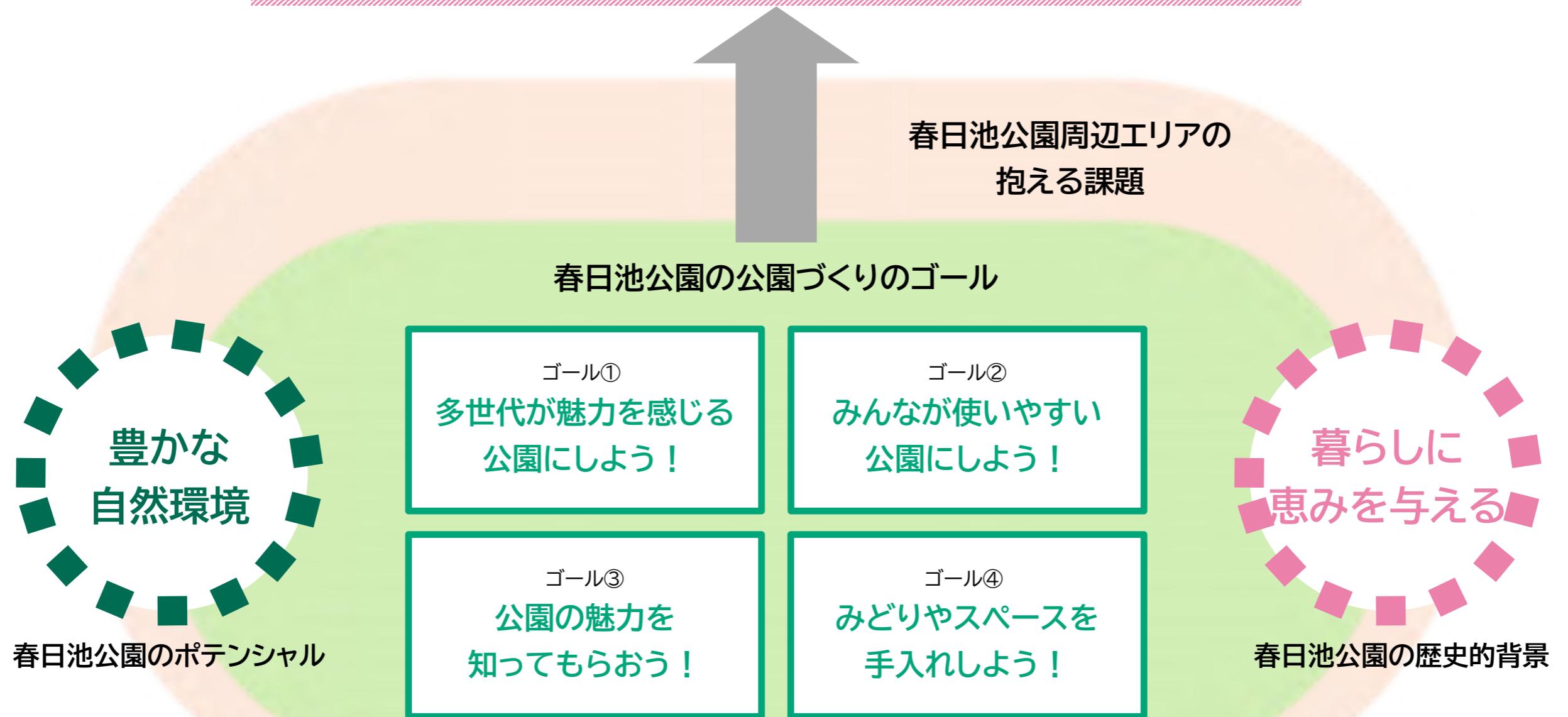
### みどりやスペースを手入れしよう！



地域に期待される効果(例)

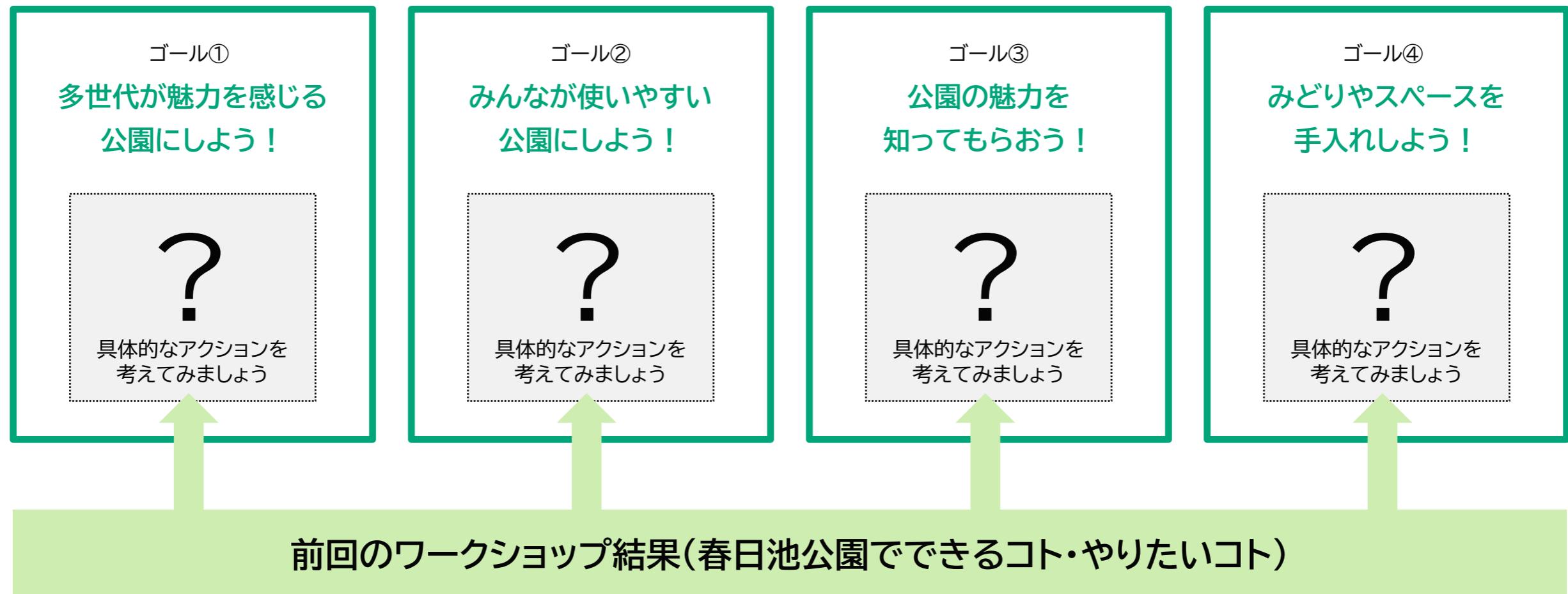
- 春日池公園の課題をもとに、公園づくりの4つのゴールを設定しました。春日池公園周辺エリアの課題は、これらの春日池公園の公園づくりの取り組みを通じて、1つずつ解決を図ることができます。
- 公園づくりのコンセプトは、そうした地域課題を解決した先にある“豊かな暮らし”を得るための取り組みについて一貫通貫した考え方・方針を表すものとなります。(次回ご提案予定)

## “豊かな暮らし”を得るための公園づくりのコンセプト



# ワークショップ

- 前回のワークショップの結果も参考にしながら、ゴールの実現につながる具体的なアクションを前回のワークショップの結果も参考にしながら、グループごとに出し合ってください。
- グループで、一度テーマ替えをしますので、2つのゴール(テーマ)についてディスカッションいただきます。



## 1. グループごとに前半のゴール(テーマ)について具体的なアクションを出し合ってください。(20分)

- 模造紙に記入していただきます。
- 説明役を1人決めてください。

## 2. 説明役を1名残し、後半のゴール(テーマ)を検討したグループのディスカッションの内容について説明を受けます。(5分)

## 3. グループごとに後半のゴール(テーマ)について具体的なアクションを出し合ってください。(20分)

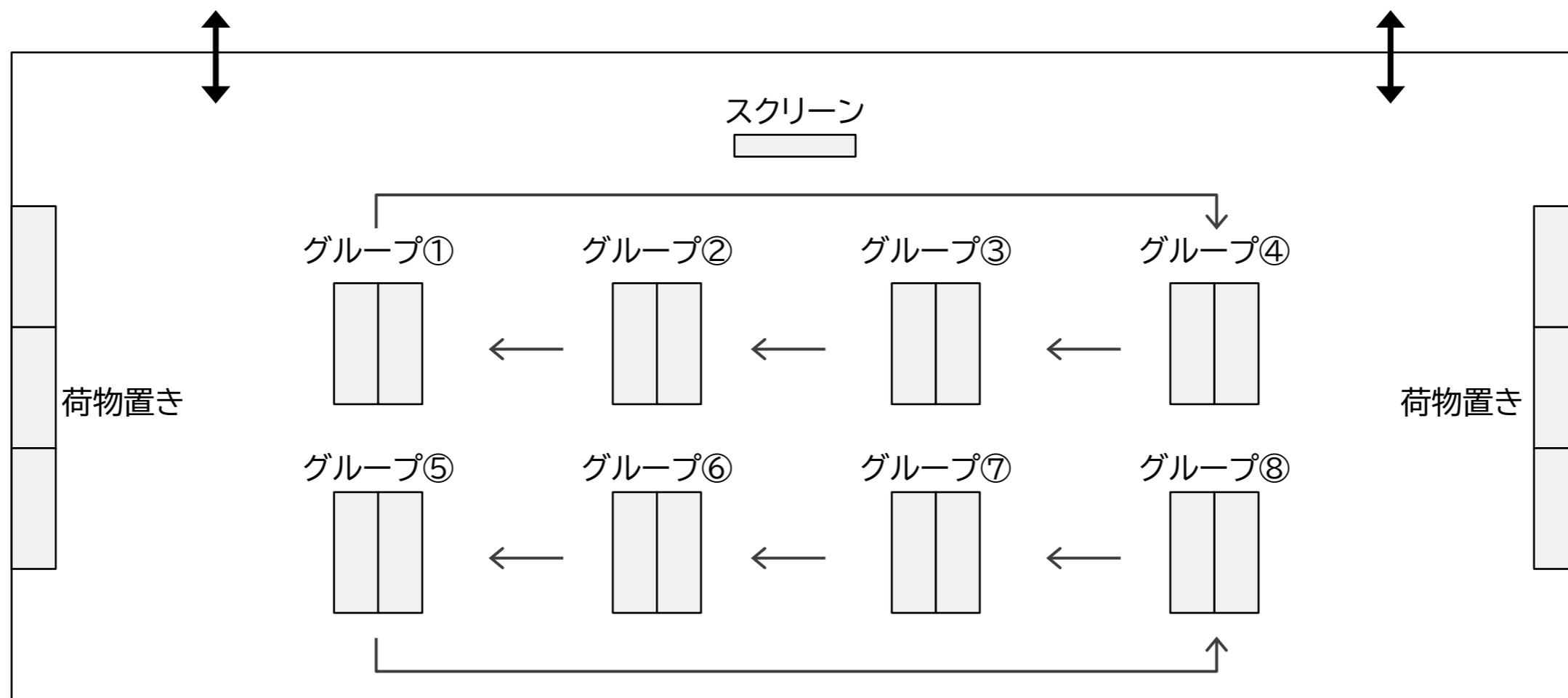
- 模造紙は前のグループからのものを引き継ぎます。

## 4. 最後に全体で発表します。(2分/グループ)

- 後半のゴール(テーマ)について発表いただきます。

グループ	前半テーマ		後半テーマ
グループ①	多世代が魅力を感じる公園にしよう！	→	みどりやスペースを手入れしよう！(グループ④から引継ぎ)
グループ②	みんなが使いやすい公園にしよう！	→	多世代が魅力を感じる公園にしよう！(グループ①から引継ぎ)
グループ③	公園の魅力を知ってもらおう！	→	みんなが使いやすい公園にしよう！(グループ②から引継ぎ)
グループ④	みどりやスペースを手入れしよう！	→	公園の魅力を知ってもらおう！(グループ③から引継ぎ)
グループ⑤	多世代が魅力を感じる公園にしよう！	→	みどりやスペースを手入れしよう！(グループ⑧から引継ぎ)
グループ⑥	みんなが使いやすい公園にしよう！	→	多世代が魅力を感じる公園にしよう！(グループ⑤から引継ぎ)
グループ⑦	公園の魅力を知ってもらおう！	→	みんなが使いやすい公園にしよう！(グループ⑥から引継ぎ)
グループ⑧	みどりやスペースを手入れしよう！	→	公園の魅力を知ってもらおう！(グループ⑦から引継ぎ)





1グループ 4~5人(全42名)

クロージング

次回は、

**1月21日(日)10時~12時 @伊勢丘交流館**

**野外編** 現地だからこそ発見できる魅力を見つけ、アイデアを考える



**屋内編** 想いやアイデアを取りまとめ、みんなでカタチ(ビジョン)にする

## 參考資料

■ 春日学区まちづくり推進委員会にて実施した「2022年度まちづくりミーティング」でのご意見は以下のとおりです。

項目		もっとこうしたらいいのでは	具体的な活動・実施事項は
事業	春日池公園の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの開催</li> <li>管理棟を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理棟を活用して買い物(フリーマーケット・移動販売)を開催できるようにする。</li> <li>SNS等を活用し、やり方を簡素化する。</li> <li>利用者が多い時期にイベントや清掃活動を企画する。</li> </ul>
	広報「春の日だより」	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分に伝わっていないため、情報発信の改革をする。</li> <li>頑張っている事がもっと伝わるように、もっと見えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰に伝えたいか、見せ方ややり方を工夫する。</li> <li>SNSを活用する。・学校のHPと連携する。</li> <li>ラインを活用する。</li> </ul>
	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の学区に比べて、小中学生のあいさつがよくできている</li> <li>あいさつ・コミュニケーション不足</li> </ul>	
	防犯・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の危険か所を減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とびだし人形を設置する。</li> <li>交通危険か所のマップを作成してデジタル化する。</li> </ul>
	環境美化活動 春日池掃除	<ul style="list-style-type: none"> <li>川や池のごみを減らす。</li> <li>ゴミの不法投棄を減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標識やミニ鳥居を設置する。</li> </ul>
	地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統行事の存続を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも関わりやすくする。</li> <li>次世代への継承に注力する。(幅広く参加を募って体験する機会をつくる)</li> <li>情報発信の強化を図る。</li> </ul>
	幅広い年齢層の交流の場 話し合う場の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体間の連携を深め、担い手となる人材不足を補う。</li> <li>地域のイベント等へ若者の参加を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春日池の水を全部抜く。</li> <li>春日池で花火大会を開催する。</li> <li>目安箱を設置して、若者提案の事業を年1回は開催する。</li> <li>地域にとって有益な活動・行事は継続性をもって行う。</li> </ul>

■ 春日学区まちづくり推進委員会にて実施した「2022年度まちづくりミーティング」でのご意見は以下のとおりです。

項目		もっとうしろしたらいいのでは	具体的な活動・実施事項は
団体	各種団体の課題		
	交流・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会, 各種団体の交流を深める。</li> <li>協力しやすいグループづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換, 交流の場を設ける。</li> <li>世代交代が必要ならば, 話し合って協力する人を支える仕組みを作る。</li> </ul>
	応援協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>学区の力を向上させるため, 各種団体の関わりを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体主体の活動を部会での活動とする。</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の不足解消へアピール。(町内会・PTA)</li> </ul>	
	整理・統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>分散している組織の見直しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒にできるところは一緒にしていく。</li> </ul>
	役員の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員の仕事の簡素化</li> <li>役員の若返り(町内会)</li> <li>幅広い年代が集う協議の場を設け, 意識アップに繋げる。</li> <li>町内会活動の見直し(役員数を減らす)→自治連との関係見直し。(イベント)</li> <li>事業者の協力を得る。(費用がかかる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員の任期が終わっても, 支援や手伝いができる体制づくり</li> <li>役員を複数にして個々の負担を軽減する。</li> <li>高齢者の役員免除(町内会)</li> <li>高齢で役員ができない場合は, パスする。</li> <li>複数のブロックを統合する。</li> <li>役員数を減らす。(統合)</li> <li>世帯数の少ない町内会の統合</li> <li>一部業務を委託する。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>(子ども会)</li> <li>子ども会の存続ため, 統合又は町内会で運営する。</li> <li>概念を変えて子どもの居場所とする。(町内会)</li> <li>自治会や子ども会の加入率を上げる。</li> <li>マンション・アパートに住んでいる方の自治会加入率を上げる</li> <li>自治会の加入者を増やし, 隣近所のつながりを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(子ども会)</li> <li>活動の見直し→登校班, 学校の連携ぐらいにする。</li> <li>(町内会)</li> <li>子育て世代が参加しやすい環境を作る。(どうしたら参加しやすいか聞いてみる)</li> <li>書面とデジタル化を併用して住民への情報発信を行い, 自治会への入会率向上を図る。</li> </ul>

■ 春日学区まちづくり推進委員会にて実施した「2022年度まちづくりミーティング」でのご意見は以下のとおりです。

項目		もっとこうしたらいいのでは	具体的な活動・実施事項は	
その他	インフラ	交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>免許証を返納した人のため、利便性の向上を図る。</li> <li>バス便数を増やし交通の利便性を高める。(免許返納の問題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これ以上<b>バスの運行が減らないように</b>もっとバスを活用する。</li> <li>乗車する機会を増やすことにより、バスの便が減らされないようにする。</li> <li>タクシー会社との連携</li> </ul>
		施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設の充実</li> <li>春日池公園以外の公園の充実(ボール遊びができる)</li> <li>ため池の管理を充実する。</li> <li>狭かったり、見通しが悪い道路を改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口流出を抑制する。</li> <li><b>春日の魅力発信の強化</b>を図る。</li> </ul>
	高齢化	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>生きがい, やりがいを見出して元気な高齢者を増やす</b>取り組み。</li> <li>高齢者の問題解決に行政・社協・シルバーとの連携を図る。</li> <li>少子高齢化対策の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>畑仕事, 会話, 食事などの場所</b>を提供する。</li> <li>通学路沿いで<b>畑作り</b>を子どもの達に見てもらい, その野菜を学校給食で食べることで感謝の気持ちが生まれる。</li> <li><b>若い世代との交流の場</b>を作る。</li> <li><b>地域活動への参加促進</b></li> </ul>